

令和５年度第１回 潟上地域リハビリステーション運営推進会議録

1. 日時 令和５年９月２６日（火）１４時～１５時
2. 場所 トレイクかたがみ研修室１
3. 出席 潟上市役所健康長寿課 坂本 悦子様
民生委員 富浪 哲子様
飯田川居宅介護支援センターわかば園 介護支援専門員 伊藤 美奈子様
利用者ご家族代表 Ａ様（Ｂ様妻）
利用者代表 Ｂ様
利用者代表 Ｃ様
利用者代表 Ｄ様
トレイクかたがみ施設長 筒井 弥生
潟上地域リハビリステーション管理者 渡部 見
潟上地域リハビリステーション 小川 遥子

4. 活動状況に関する報告

トレイクかたがみ（筒井）	トレイク前施設長に代わってまだ２か月ほどだが、リハビリの大切さを皆さんと学んできた。利用者様も来るのを楽しみにしてくださっていてありがたい。今日は皆さんから意見をいただきたい。
潟上地域 リハビリステーション（渡部）	① 利用状況 延べ人数 611 名中、男性 226 名、女性 385 名。１日平均 27 名。平均年齢 77.93 歳。この１年間は登録人数が 120 名前後、実際の利用者数が 110 名前後で大きな増減なく推移している。利用者の地区は天王 45％で最も多い。介護度は事業対象者から要介護 2 までの基本は自立して動くことができる人が多い。中枢性疾患、整形外科疾患が中心。 ② 当施設でのリハビリテーションの実際 体組成計での体重、筋肉量、BMI、推定骨量などの評価、トレーニングルームでの機械を用いた運動、利用者個々に合わせた個別リハビリ、屋内外での集団トレ

	ーニング、上下肢のトレーニング、認知トレーニング、集団レクリエーション、園芸、ドライブ屋外活動。 ③ 夏場の熱中症対策 この夏は異常な暑さだった。慢性的な水分不足、熱中症で自宅で倒れ、入院した人がいた。スポーツドリンクを1杯運動前に摂取してもらった。送迎時屋内で待つよう手紙を配布した。 ④ 事例紹介 T.Kさん：87歳女性。変形性膝関節症。初回 R4.10 から全身筋肉量増加、歩行時間6秒ほど短縮、立ち上がり時間半分以下に短縮、立位バランス点数満点に向上、寝返りもうちにくかったが、屋外に歩いて買い物に行くようになった。出かける範囲も広がっている。 ⑤今後の課題 次回以降は実際のデータを紹介したい。 屋外活動は、買い物支援がしたい。吟味して自分の買いたい物を買う機会、自立支援プログラムの1つとして取り入れていきたい。 ⑥コロナ コロナウイルスには、今年は幸いにも当施設に来てなかった人は0人。
--	--

5. 意見交換、質疑応答

山根町内会長 阿部 様	欠席。
民生委員 富浪 様	皆さん積極的に運動に参加している。理論的な指導をしてもらって体力、筋力向上しているのがすごい。買い物支援は生きがいになるため良いと思う。
介護支援専門員 伊藤 様	B様がトレイクに行く前日から準備されているのは事実。楽しみにしているようだ。奥さんも薬に頼らず運動で良くなりたいと話していたが、実際に良くなっており、スタッフに声掛けしてもらうのが励みになっている様子。屋外活動では凸凹した地面や階段のある場所に行くのが良いと思った。

家族代表 A 様	夫は利用してから人が変わったみたい。運動のおかげで頭の血の巡りが良くなった、人との関係も良くなった。以前は外に出たがらなかったのが、今は一人で散歩に行っている。外に目を向けるようになっている。ほかのデイでは送迎に来ても行かなかったが、トレイクには行く前の日から準備している。
利用者代表 B 様	トレイクに来た日と次の日は調子がいい。間が空いているのももう少し来たい。2人で病気になるかと思っていたが今はそういった危険は感じずに過ごしている。
利用者代表 C 様	トレイクに2日、他デイサービスに3日通っている。どちらでも友達がいるので楽しみにしている。ありがたい。
利用者代表 D 様	手術して夫が亡くなってから、口も舌も回らなくなっていたが、ここに来てから明るくなったね、歩けるようになったねと人から言われた。自分としても歩けるようになったし、痛みで病まなくなった。火、木と来ているが、もう少し来たいくらいだ。 歌を歌うテレビ体操があり、それに合わせて大きな声を出している。舌が回るようになった、良い効果がある気がする。
市役所健康長寿課 坂本様	頭を使うトレーニング、屋外の活動もバランスよく取り入れて工夫されていると感じた。通っている方々の表情が明るい。これからも通って、元気でいていただきたい。